SANJO ROTARY CLUB
三条ロータリークラブ 週報 No. 28
2014. 1. 29（No.2766）

第2560地区ガバナー／山 﨑 堅 輔
会　　長／丸 山 行 彦
会長エレクト／高 橋　　司（クラブ奉仕A）
副　会　長／五十嵐晋三（クラブ奉仕B）
幹　　　事／船 越 正 夫
S　A　A／野崎喜一郎
会　　　計／若槻八十彦

例会日／毎週水曜日12：30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10　三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477　FAX 32-7095

E-mail：sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho－net.ne.jp/~rotary/
（~はshiftを押しながら"へ"のキーを押してください）

■本日の出席会員数：56名中36名
■先々週出席率：84.62%

【ゲスト】
・㈱相田合同工場
代表取締役社長　相田　聡 様

【先週のメークアップ】
［1.21］分水RCへ
・加藤紋次郎さん
［1.23］三条東RCへ
・菊池　渉さん、　中林順一さん、
・杉山幸英さん、　西山徳芳さん、
・中村信一さん、　斎藤弘文さん、
・山田富義さん、　伊藤寛一さん
（8名）
［1.27］三条南RCへ
・中林順一さん、　五十嵐晋三さん、
・丸山行彦さん、　菊池　渉さん、
・小越憲泰さん、　石橋育於さん、
・松永一義さん、　斎藤弘文さん、
・西山徳芳さん　（9名）
［1.28］三条北RCへ
・五十嵐晋三さん、菊池　渉さん、
・中村和彦さん、　丸山行彦さん、
・杉山幸英さん、　中林順一さん、
・熊倉昌平さん、　浅野金治さん
（8名）

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」
2013～2014年度国際ロータリーのテーマ

会長挨拶

丸山行彦 会長

皆様こんにちは、ご挨拶申し上げます。

今日は、㈱相田合同工場社長の相田様からお越し頂いております。お忙しい所をお越し頂きましてありがとうございました。後ほど卓話よろしくお願い致します。

次年度会長の高橋さんが帯状疱疹でしばらくお休みでしたが、全快して今日から出席です。回復おめでとうございます。

最近冬季オリンピック、ソチ大会の開催が近づくにつれて、新聞やテレビなどマスコミに話題が多く取り上げられてくるようになってきました。冬季オリンピックについて調べてみましたら、今まで1924年のフランス大会から始まって21回開催されています。そのうち日本が参加したのは19回です。

日本人選手の活躍が楽しみですが、以前どのくらいのメダルを取っているのかを調べてみました。第19回の長野大会は金5個を含めて合計10個のメダルを取り、大活躍でしたが、その他は18回の参加で金は全部で4個だけしか取れておりません。たとえば長野大会の次の冬季オリンピック、ソルトレイクシティー大会では、金なし、銀1個、銅1個でした。次のトリノではフィギュアで荒川静香選手が金を取りましたが、銀、銅はありませんでした。前回のバンクーバーでは金なし、銀3個、銅2個でした。

このように思ったほど冬季大会では日本人は活躍していませんが、今回は金を取れそうな話題の選手が大勢います。特

に女性の選手が期待されます。

日本とソチは時差がモスクワと同じ5時間です。夜の試合は日本時間真夜中になりますのでなかなか実況では見られませんが、お昼過ぎの試合は日本ではちょうどよい時間で見られるかなと思っています。

日本人選手の活躍を期待しまして挨拶を終わります。

幹事報告

船越正夫 幹事

◎山﨑ガバナー事務所より

「2月ロータリーレートのご案内」

2月1日より　1ドル＝102円（現行）

マルチプル・ポール・ハリス・フェローピン授与
小林敬典 会員

ポール・ハリス・フェロー認証状授与
中林順一 会員

ニコニコBOX

丸山行彦さん
㈱相田合同工場社長 相田様、お忙しい中卓話ありがとうございます。お話楽しみです。

高橋　司さん
大変ご心配をおかけしました。ようやく例会にも出席できるようになり、クラブからお見舞いをいただきありがとうございました。

吉井直樹さん
先週末､2年ぶりのスキーへ行きました。減る筋肉と増える体重で足はガタガタです。トレーニングします。

本日、相田様宜しくお願いします。

中村和彦さん
先週RC有志で、八方尾根（長野県）にスキーに行って来ました。うまい空気をいっぱい吸って来ました。

相田様、本日卓和ありがとうございます。

小出子恵出さん
小雪に感謝。このまま屋根雪を降ろさないで済みますように願って。

樺山　仁さん
雪がなく青空でなによりです。このまま春とはいきませんがなによりです。

本日の卓話、相田様に期待しております。

伊藤寛一さん
本日チットテレビで拝見いたしました。

卓話宜しく願います。

小林吾郎さん
相田先輩、お話楽しみにしております。

佐野勝榮さん
相田様、ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしてます。

衛藤泰男さん
本日もよろしくお願いします。

山田富義さん
相田社長、卓話ありがとうございます。

所用のため、早退します。

川瀬康裕さん、　斎藤弘文さん、　渡辺勝利さん、金子俊郎さん、　杉山幸英さん、　五十嵐昭一さん、野崎喜一郎さん、明田川賢一さん、会田二朗さん、関川　博さん、　船越正夫さん、　小越憲泰さん、木村文夫さん、　中村信一さん、　若槻八十彦さん、五十嵐博宣さん
相田 聡様、本日は卓話ありがとうございます。

お話楽しみにしております。

１月２９日分 ￥　46,000
今年度累計 ￥ 943,100

2月のお祝い

◎会員誕生祝

2日　五十嵐博宣さん
4日　荻根澤隆雄さん
17日　加藤紋次郎さん
20日　金子俊郎さん
26日　斎藤弘文さん

◎夫人誕生祝

17日　五十嵐美和さん（博宣さん）
22日　斎藤千也子さん（真澄さん）
26日　松永シゲミさん（一義さん）

◎結婚記念祝

7日　小林敬典さん　（由美子さん）
25日　斎藤弘文さん　（昌子さん）
28日　関川　博さん　（由紀子さん）

卓　話
鍬のはなし

㈱相田合同工場
代表取締役社長　相田　聡 様

ただいまご紹介いただきました三条市田島で鍛冶を営んでおります相田と申します。本日はご縁をいただいて三条ロータリークラブさんで「鍬のはなし」をさせていただくことになりました。拙い話で、またスライドは学生の講義向けに作っていますので、少しふざけた部分もありますがご容赦ください。

2011年の東日本大震災の影響で震災直後に商品の流通が止まり、売り上げの大幅減少と大打撃をうけました。このような状況下、果たして私たちの仕事は続けていけるのか大きな不安に襲われました。そんな折、奈良の耕作放棄地に若者たちが集まって、耕作放棄地を田畑に戻しているという話を聞きつけ、新たな需要の掘り起こしにならないかと視察に行って来ました。スライドの写真はその時のもので、棚田はすべて耕作放棄地を田畑に戻したものです。奥に見える盆地は奈良市内、かつて飛鳥の時代に都が置かれた場所です。この棚田はその頃に都の食糧基地として田畑が開かれたのだそうです。言わば日本の農業の初めともいえる場所で、自らの仕事、鍬を作るということを考え直してみようと思い立ったのです。今日はこのような思いで「鍬」のことをまとめてみましたのでお聞きいただければ幸いです。

（ここからはスライドの内容を転記します。）

◎鍬の定義

農作業に使われる手道具のひとつ
金属の刃と木製の柄で構成されている
金属部分と木部の取り付け角度は90度以内
種類は多岐に渡り形態構造のほかに用途別にも分けられる
用途は開墾・耕起・整地・畝作り・畦作り・中耕・除草・覆土・培土・掘り取り・天地返し等多用途
海外でも同様の手道具は存在するが、わが国に於ける「鍬」は独特な発達を見せている

◎鍬の事情①

・鍬の現況
農業機械により鍬の使用は量的には大いに減退した。田畑の耕起・整地はほぼ機械化され農作業の80%の作業量を失っている。農業における鍬の使用は激減、反面、家庭菜園での使用が大幅に増加。

・鍬の保有
中山間地の多いわが国において、水田と畑を耕作するやり方にそれぞれ鍬が使い分けられた。また桑園、果樹園、徳用作物園で作業に好適した各種の鍬が使用された。家庭菜園に於いては使い捨て。

・鍬の生産
かつては全国各地の野鍛冶による生産が主力、現在は輸入品が大半で、国内製造で産地形成しているのは三条市のみ。
野鍛冶の数は、太平洋戦争前の1940年頃には2万余軒を超えたが、敗戦の1945年には1万2000軒にまでなった。翌1946年には、1万7890軒と若干回復したが、その後また漸減し、1963年（昭和38年）には1万462軒、1966年（昭和41年）には8666軒。（国勢調査）

◎鍬の事情②

・鍬の単価　農家向け業務用鍬5,000円～30,000円
家庭菜園向け（ホームセンター）
398円～1,980円
家庭菜園向けハイエンド
15,000円～40,000円

・鍬の販売　現在はホームセンターが主力
かつては、農協・農協販売店・金物店・行商・露天市場

・鍬の特殊　「先がけ」「貸し鍬」
この2つのワードが日本の鍬の特殊事情なのです

◎相田合同工場と鍬

鍬の専門鍛冶　新潟県三条市で創業　84年の社歴（創業昭和5年）製造品目4000余
全国の多種多様なオーダーに応える　少量多品種
製造の工程を支える職人の技術力
各地の先人たちの技を再現

◎相田合同工場の鍬づくり　（ビデオクリップで紹介）

◎鍬のビジネス①

・完成品の販売
家庭菜園ユーザーを意識した全商品取扱説明書添付販売
作業用途や形状が多岐にわたる鍬を、使用者の目的に合わせ購入いただく事を目的とした取扱説明書の添付、web開示（ダウンロード可）

・完成品の販売　受注生産①
従来のお取引先（金物卸商）からの受注　かつて全国各地にいた野鍛冶が製造していた鍬の供給

・完成品の販売　受注生産②
こだわりのユーザーに向けたオーダーメイドかつての「買い場」を失った個人から来社やwebでの受注
・完成品の販売　受注生産③
同業者からの受注

◎鍬のビジネス②
・「先がけ」＝鍬の修理　摩滅した刃先の復元
日本の道具文化　職人の技術集積の賜物
●「鍬は直して使うものだ」ということを伝えていきたい
●直して使うことを知っているユーザーは現代においても存在しています
●鍬作りを生業としているものとしてこの文化を伝えていくことは責務
2004年頃から積極的に修理の受注を開始　全国各地で鍬の修理相談会を実施
2010年度修理本数は1000本を超える

◎鍬のビジネス③
・「貸し鍬」＝鍬のレンタル
日本の最古のレンタル業
●鍬を農家以外の者が所有しこれを農家に貸与する慣行・職種（貸し鍬屋）
●新潟県下で上・中越地方を中心にかつて広く存在
国の登録有形民俗文化財に指定
☆現代に形を変えて復活させたい！
農業体験を本物の道具で。鍬を必要な時・必要な本数・必要な期間レンタルします。
2007年からサービス提供開始行政、自治会、ＮＰＯ、住宅展示場などにレンタル実績

◎鍬の雑学①　・鍬と料理＝日本を代表する料理の起こりに鍬が関わる？
◎鍬の雑学②　・鍬のケンミンshow＝鍬であなたの出身県がわかる？

◎まとめ
今日の鍬は、かなり旧い時代にその形態構造が決定し、永く改造が行われていません。そして現実の使用者は現代人であり、製作者も現代人であります。現代人の体格・体力・労役形態・動作は、数十年前とは著しく変化し、伝統的な日本人の労働から発生し発達した鍬は、今日の人には通じなくなりました。
また、鍬の生産は野鍛冶が主力でした。手作業による製品の方が鍬として優れた物が多かったのです。しかし、時代とともに野鍛冶は激減し、販売方法も変わり海外からの安価品が市場を席巻しています。
しかし、美しい日本の文化が宿る鍬を今なお知りえる社会が存在します。また、伝統を守りながらも、同時に成長してきた新しい社会が満足する鍬の生産をしなければなりません。新しい社会とは「家庭菜園」の普及です。
量産が出来て手作りの良さを失わない鍬の生産が求められています。しかし、これに対して科学的な設計資料は極めて乏しいのが現実です。
各人に満足される手農具である鍬を提供するためにも、ユーザーとの距離を縮め情報を共有し技術が蓄積される現代の「村のかじや」を目指しています。
拙い話でしたが最後までご清聴をいただきありがとうございました。

次週例会　2月12日　夜例会「新年会」
18:30～　於 越前屋ホテル

次々週例会　2月19日　「会員卓話」　中村信一 会員